



ガバナー 柏木 尚

プロフィール
第2660地区ガバナー
柏木 尚

生年月日 1926年(大正15年)7月12日

住所 〒560-0021
豊中市本町6-12-19

最終学歴 旧制灘中学校卒業

職歴 1947年/灘購買利用組合(現生活協同組合コープこ
うべ)入所、1975年/大阪北生協 専務理事に就任、
1986年/大阪北生協 理事長、1997年/大阪北生協
理事顧問

主な役職 1990/大阪府生活協同組合連合会 会長理事、1985
年/日本生活協同組合連合会 理事、1985年/大阪
府米穀流通適正委員会委員、1992年/豊中防火安全
協会 副会長、1992年/(財)豊中交通安全自動車協会
理事

賞 1978年/兵庫県知事永年勤続表彰、1993年/大阪府
知事功労表彰、1993年/交通安全功労表彰、1993年
/厚生大臣表彰、1994年/交通荣誉緑十字銅賞、
1997年/経済企画庁長官功労表彰

ロータリー歴 1973年4月/入会、1978-79年度/SAA、1979-80年度/理事、1982年4月/再入会、1983
(豊中RC) -84年度/SAA、1984-85年度/理事、1985-86年度/幹事、1993-94年度/会長、1997-
98年度/40周年記念実行委員長

ポール・ハリス・フェロー

職業分類 シニア・アクティブ(生活協同組合)





地区ガバナーの就任のあいさつ

1999-2000年度 RI テーマー



ロータリー2000：活動は一堅実、信望、持続

ROTARY 2000 ACT WITH
CONSISTENCY, CREDIBILITY, CONTINUTY

(原点をふまえ21世紀の扉を開こう)

ガバナー 柏 木 尚

1999-2000年の新しいロータリー年度がスタートいたしました。昨年3月ガバナーノミニーに指名されてから、不勉強で地区の事がよく解らない私をガバナー並びにパストガバナーの皆さま方のご指導をいただき、多くの地区の行事と地区の各委員会にできるだけ出席させていただき、最後にアナハイムで開催された、国際協議会に出席させていただきまして、RIの国際性と巾の広い奉仕活動について認識を深めてまいりました。帰国後、次期委員長会、次期会長研修会を経て、地区協議会開催の運びになり、RI並びに地区の全体像が見えてまいりました。まだまだいたらぬ点が多いと思いますが、私なりに一生懸命ご奉仕させていただきますので、この一年何卒よろしくお願ひ申し上げます。

ご承知の様に地区の日常運営は、地区委員の皆様の熱意あふれる奉仕によって支えられております。しかも地区委員の皆様は、それぞれのクラブでも重要なお役目をお持ちの上に地区の委員会に貴重な時間を削いて、委員会の準備から、会の運営そしてフォローまで時間をかけて企画されている姿に接し、心から敬意と感謝をいたしております。ほんとうにご苦労さまです。ありがたいことです。

さてRIのテーマについて申し上げますが、RIの会長カルロ・ラビッツァ氏は、「今年は、20世紀と21世紀の架け橋の年度である」と位置づけています。21世紀の新しい世紀にむけて、ロータリーとしての準備をしなければならない年度であり、その先ず第1には、私たち自身が「真のロータリアン」にならねばならない。そのためには、私たちは、ロータリーの規則と信念に堅実であり、信望をかちとれるような行動をしなければならない。そして、私たちの奉仕のプログラムは「持続」が大切であると強調しています。私たちロータリアンは常に謙虚さと度量を培い寛容の心と連帯の心をもって、21世紀の扉を開こうではありませんか。即ち私たちは、ロータリーの原点をしっかりと見つめ、21世紀のあらゆる変化と新しいニーズに、力強く且つ柔軟に対応できるロータリアンになることが大切であると思っています。

カルロ・ラビッツァRI会長は、ロータリアンを次のように分析しています。即ち現在世界の120万人の会員のうちわずか30%が熱心なロータリアンである。若し残りの70%の会員が本当に熱心なロータリアンに変ってくれたら、どれだけのことを成し遂げられるか想像してみてください。おそらく21世紀の人類の未来を変えることができるのではないのでしょうか？そのことによって、ロータリーのためばかりでなく、よりよい未来を築くことができるだろうと、締め括っています。

「指導力の持続」ということでは、カルロ・ラビッツァ会長は、大切なことを提案しています。「私が国際ロータリー会長ノミニーになった時、グレン・キンロスRI会長は、私をエバンストンに呼びキンロス会長や、レイシー会長エレクトと一緒に重要な意志決定に私を参加させました。これがロータリーにとって、歴史的瞬間であったことを知っている人は、ほ



とんどいません。これからは、RI会長職関連の従事期間を3年にするようRI会長指名日程を変えることが私の節なる希望です」

「即ちトップ3人のロータリー指導者の継続性が組織にとって、安定感をもたらす最初の提案になります」と言っています。

そしてこのことは、ロータリーの伝統を破るものでもと言っています。

四大奉仕部門

◎クラブ奉仕部門

特に会員増強につきましては、決め手はございません。一口で言いますと「魅力」あるクラブ創りです。確かに不景気も大きな原因ですが、むしろ私たちロータリアン自身に多くの問題が潜んでいるのではないかと自問自答する必要があります。クラブ自身の内部の人間関係も大きく影響しているように思えます。男女を問わず優れた職業人はたくさんおられるはずですので一人でも多くの方がロータリークラブに加入されるよう魅力あるクラブ創りに努力して下さい。(今年純増目標100名)

◎職業奉仕

ロータリーの基本的発想の一つである職業奉仕が常に基本的理想として、職業倫理・職業を通しての奉仕を各クラブ活動の面で会員ひとりひとりが自覚してほしいと思っています。

◎社会奉仕

地域社会のニーズをキャッチして、奉仕の輪を拡げて下さい。特に環境保全の問題は21世紀にむけて継続的にさまざまな角度から、検討していかねばなりません。今年は冊子も出来ますのでみんなで勉強しましょう。

◎国際奉仕

ボーダレスの時代に突入していきませんが、貧困・飢餓・識字等、人道的・教育的な多くの問題があります。R財団との連携を軸にフォローアップのできる仕組を確立することが大切です。

今年度の地区大会

2000年5月12日・13日と、リーガロイヤルホテル並びに大阪府立国際会議場で開催されます。

年に一度地区の全ロータリアンが一堂に集いその年度を振り返り、その成果を称え合い又反省もし、そして次年度への期待と展望を求めて新設なります府立国際会議場で開催します。柿落とし後、間もない会場ですので新しい雰囲気で行えるのではないかと期待しています。

「ロータリー2000：地区大会賞」がRI会長によって用意されております。クラブの参加率や、会員の出席率も高いことが条件になっております。幸いなことに、もともと自主的参加ですが、1999-2000年のための地区協議会の会長部門で、ご賛同を得て、前期・後期とも3,500円での全員登録が決議されました。

みなさまのご協力、ご熱意に添うべく、準備をすすめてまいります。ご期待下さい。

特に今年度は日本文化特に古来からの世界に誇り得る伝統芸能にスポットをあてて、企画したいと思っております。

地区全クラブ並びに全会員各位のご協力とご支援をお願い申し上げて、就任のご挨拶といたします。ありがとうございました。